

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームせせらぎの家

施設種類：グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和7年9月18日 10時00分～10時50分

会場：やまゆり苑 家族交流室

出席者：9名

### 内訳

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	出雲高齢者あんしん支援センター	1人
地域住民の代表	1人	高齢者福祉課	1人
その他（理事長、施設長、所長、管理者）			4人

### 議題

（報告事項）

#### 1、入居者状況：＜定員18名＞（入居者18名）

要介護度1・・・6人 要介護度2・・・6人 要介護度3・・・3人

要介護度4・・・3人 要介護度5・・・0人

\*平均介護度・・・2.2

\*平均年齢・・・87.2歳

\*待機者・・・12名

#### 2、行事報告

R7.7.24	防災訓練	利用者12名、職員8名
R7.8.19	日日是好日（看取りイベント）	利用者11名、職員4名
R7.8.28	納涼祭	利用者17名、職員10名
R7.9.8	笑いヨガ	利用者18名、職員6名

#### 3、防災訓練について

#### 4、意見交換

高齢者福祉課

- ・笑いヨガ珍しいですが、どのような効果があるのでしょうか？

所長

- ・特養の利用者様のご家族様で、今回ご縁があつてせせらぎでやって頂きました。笑いヨガの一部を口腔体操で取り入れたと思っています。

高齢者福祉課

- ・利用者様の家族様と一緒にされていて良い取り組みだと思いました。

コミセンセンター長

- ・毎回、cotaba 大変でしょうが、売上はどうでしょうか？

所長

- ・売上を目的ではなく、ケアの一環として行い、利用者と一緒に商品を作り地域の催しに参加し、出店することで交流できることを目的にしています。材料も職員の家にある使わなくなった物を持ちより、職員のアイディアで利用者と一緒に商品化しています。材料費もそんなにかかっていないです。

あんしん

- ・笑いヨガ参加したことあるのですが、講師の方が振り切られていて、最初は圧倒さ利用者さんはどうでした？

所長

- ・最初はあっけにとられておられましたが、徐々に同じ動作をされたりして笑顔が見られるようになりました。口腔体操などに、取り入れるものがあれば、取り入れるとやっていけるかなと考えています。

家族代表

- ・面会に行った時も、元気そうにやっていて、安心しています。手作業、話す、運動することは大事なと思います。

家族代表

- ・二次避難の経路が歩きにくいので、整地してあるといいと思います。

地域住民

- ・台所や浴室が火元となりやすいと思いますが、２次避難の際には火元の前を通過しないようにするのにしても、風上、風下なども関係もあるので、抜け道等あるといいかと思っています。

所長

- ・ご意見ありがとうございます。頂いた意見を参考に検討させていただきます。

コミセンセンター長

- ・消防署から来て、訓練されるのは年何回ですか？

管理者

- ・年２回のうち１回です。

あんしん

- ・ネームプレートを外したら、避難完了とあって良いと思います。もし、それが出来ない状況の時は何か考えておられますか？

管理者

- ・出来ない状況のときは、大きな声を出し合い、コミュニケーションをとって情報を共有すること。他の方法も検討させていただきます。

高齢者福祉課

- ・見取り図とか消防との情報共有に良いと思いました。

施設長

- ・防災訓練をし、毎年色々な意見を頂いています。設備上、手をつけられないところもあり、もどかしいところもあります。スプリンクラーの消火率が９５％と言われています。点検もしていますが、何かで作動しないこともあるかもしれませんので、安全に避難出来るようにしていきたいと思います。

所長

- ・新規入所されている方で、徐々にせせらぎの家に慣れてきてはおられますが、一日の内で自宅が心配になられる時間帯があり「ちょっと帰ってくるけんね」と、外へ出かけられることを日課にされています。「あの家に行って聞いてみるか」と家の方に向かわれる時もあります。出会われた際は、温かく迎えて頂けたらと思います。せせらぎの家でも、ご利用されている皆様の心地よい場所となるよう努めますのでよろしくお願いします。

以上

